

大原社会問題研究所五十年史

Ⅴ 戦後

『高野岩三郎伝』刊行さる

一九六八(昭和四三)年三月、四年前よりその編集をつづけてきた『高野岩三郎伝』(大内・森戸・久留間監修、大島清著)が岩波書店より刊行された。

四月五日、高野岩三郎・櫛田民蔵両先生追憶会が法大総長会議室において開催された。大内兵衛、久留間鮫造、野上弥生子、宇野弘蔵、櫛田克巳、向坂逸郎、谷川徹三、中村哲、古垣鉄郎、河野密、佐多忠隆、栗田確也、小林勇氏ほか研究所関係者三十数名が参集し、さきに刊行をみた『高野岩三郎伝』を中心に、高野・櫛田両氏の追憶談がはずんだ。

同じ四月五日、追憶会の前に開かれた理事会および評議員会で、役員の変更が決定された。すなわち任期満了にともなう宇佐美所長辞任のあとをうけて、大島理事が所長に就任した。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)